**ＥＳＤＧｓ通信　第174号　「豊橋中央高等学校での講演と出会い」手島利夫**

いつもお世話になっております。

3月17日の午前中、豊橋中央高等学校（ユネスコスクール校）の１・２年生５５０名に、

「激変を続けるグローバル社会を、日本の高校生は生き抜けるか」という視点から、約１時間

お話させていただきました。講演の後には、ＥＳＤやＳＤＧｓに関して、生徒さん方が実践し

てきた様々な取り組みについて楽しく、しかも充実した発表も聞かせていただきました。

　私の講演から、生徒さん方は自分たちが日ごろ取り組んでいる学びや実践について、ＥＳＤ

の視点から改めてその価値を認識することができたようで、中には感激して校長室前まで来て

握手を求めてくださった方までいました。時節柄グータッチにしましたが、講演での内容が、

彼らの学びや実践を価値づけ、勇気を与えるものになったとしたらうれしいことです。

この会には、豊橋ユネスコ協会会長の　渡邉　正様も同席されていて、生徒さんたちのお取

り組みに対し、高く評価されたり表彰されたりしてくださいました。

また、渡辺様からは、愛知県教育委員会の指導主事さんに、「ユネスコスクールのレビュー

が動き始めているが、県教育委員会としても、実践の支援を一層進めることによってレビュー

がうまく進むよう応援をしてはどうか。」と問いかけていらっしゃいました。

渡邉様は私には、「ＳＤＧｓ・ＥＳＤの推進に向けた学校とユネスコ活動の協力、連携」と

いうタイトルの豊橋ユネスコ協会定例会でのプレゼン資料をくださいました。その内容には、

・子どもたちはどのような社会に生きていくのか（8つの視点から、データを踏まえたお話）

・社会的主体を育成する教育（ＥＳＤ，ＳＤＧｓとは、ＥＳＤの学力観、ＥＳＤと新学習指導

要領、課題解決探究能力とアクティブ・ラーニングについて）

・豊橋ユネスコの取り組み（地域ユネスコ活動と学校支援、連携、そして課題）

といった視点があり、大学の講義にも使えるような精度の高いプレゼンと、それを踏まえて、

学校支援の進め方について学び合うためのものでした。その様な学び合いを踏まえて、「戦争

と豊橋空襲の歴史に学ぶ」といった学校への出前授業を進めていらっしゃることも素晴らしい

ことだと感じ入りました。

 生徒さんにお話ししている時にはほとんどの先生方もご一緒に聞いてくださっているので、こ

のスタイルは、先生方への講演会よりも学校全体にＥＳＤやＳＤＧｓが伝わりやすいなと感じ

ました。

※　先程お伝えした、豊橋中央高等学校での「2023年度ＥＳＤ振り返り会」の様子を伝える

「豊ユ協　ユネスコたより」も送られてきました。私の講演内容等にも触れてくださっていま

すので、次ページに紹介させていただきます。

　今回も最後までご覧いただき、ありがとうございました。今後ともご指導を賜りますよう、

お願い申し上げます。

**「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫　　URL=https://www.esd-tejima.com/**

**☏＝ 　090-9399-0891　　　Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com**

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

【参考】

ＥＳＤＧｓ通信：手島利夫が名刺交換させていただいた方に配信している不定期なメルマガ

で、一般の方をはじめ、文科・環境・外務など関係省庁、大学・研究機関、教員、教育行政、政

治家、学生、企業等々の方々も含め約1９００名様に配信中です。

[contact@esdtejima.com](mailto:contact@esdtejima.com)　にメールでご連絡いただければ、登録・及び削除をいたします。

ご異動やお役職の変更もご連絡いただけたら修正いたします。よろしくお願いいたします。

